

# 再評価対象事業

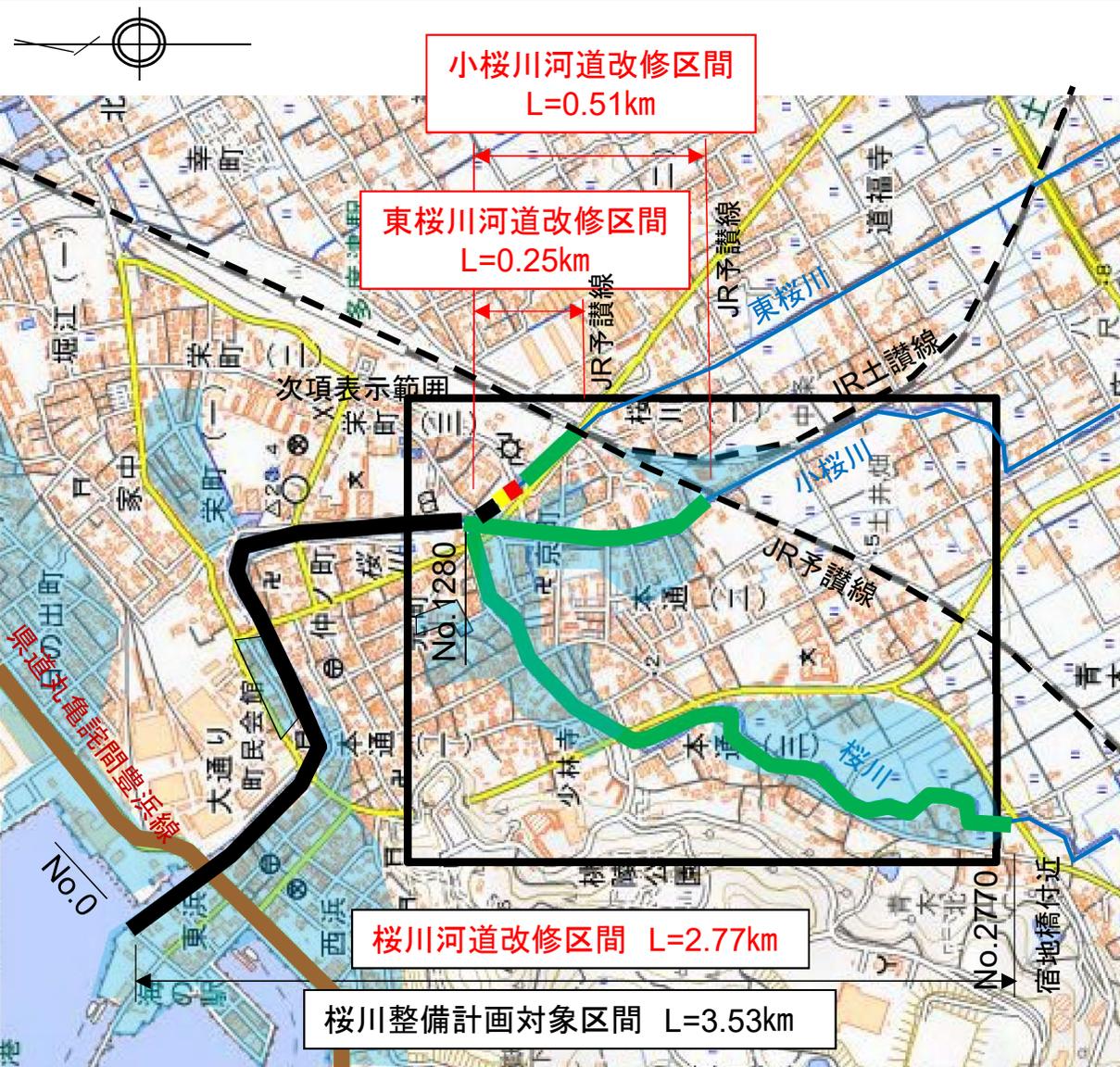
社会資本整備総合交付金事業  
(総合流域防災事業)桜川

香川県土木部河川砂防課

# 1. 再評価対象事業 位置図



## 2. 再評価対象事業 計画図



凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:black;"></span>	R2年度以前
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	R3年度施工
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red;"></span>	R4年度予定
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:green;"></span>	将来施工
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightblue;"></span>	H16浸水範囲(台風23号)

### 河川改修の経緯

- S59 (1984) : S58水害を契機とし、河口から河川改修着手
- H16 (2004) : 平成16年災害
- H17 (2005) : 河川整備基本方針策定
- H19 (2007) : 河川整備計画策定
- H29 (2017) : 再評価委員会 (事業継続)
- H29 (2017) : 平成29年災害

### 河川整備計画の概要

#### 対象期間

■ 概ね20年とする

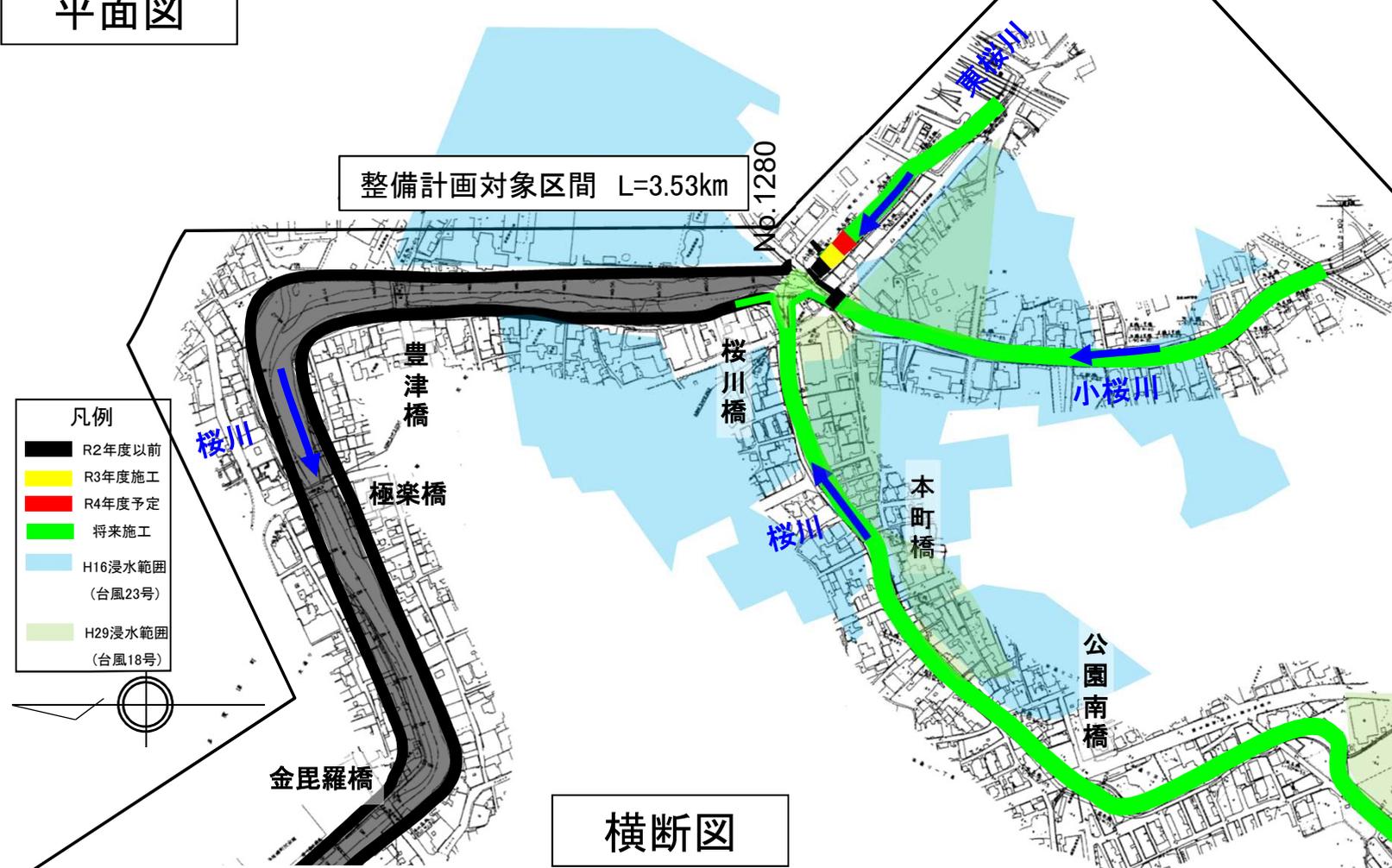
#### 対策の目標

■ 流域の人口、資産状況、氾濫面積等の治水上の重要度や過去の水害実績を考慮し、30年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に流せること

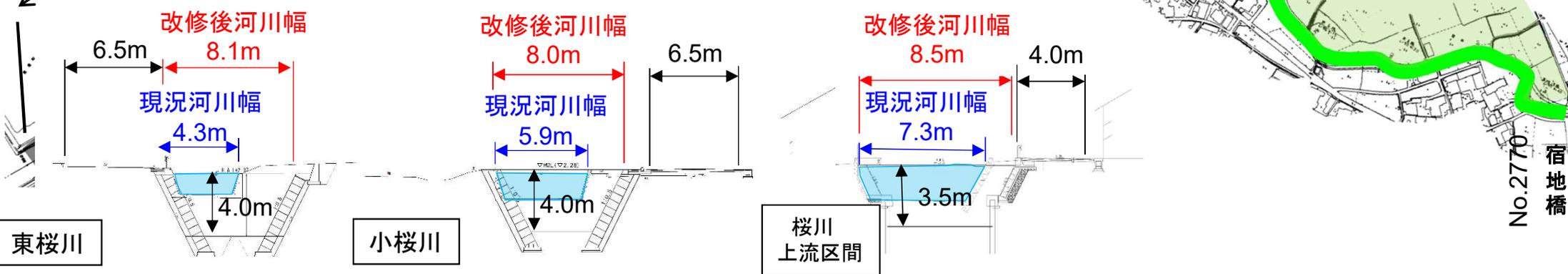
出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp>)

# 3. 再評価対象事業 説明図

平面図



横断図



# 4. 被害の発生状況

## 過去の浸水被害

出典:水害統計

発生年月日	発生要因	観測局	最大時間雨量 (mm/h)	最大24時間雨量 (mm/h)	浸水家屋(棟)		
					床下	床上	合計
平成10年9月22日	台風7号	多度津	15	40	86	1	87
平成16年8月18日	台風15号	多度津	53	119	42	1	43
平成16年8月30日~31日	台風16号	多度津	26	51	56	8	64
平成16年10月20日	台風23号	多度津	30	133	137	4	141
平成23年9月2日~3日	台風12号	多度津	14	98	78	1	79
平成29年9月14日~18日	台風18号	多度津	18	84	208	84	292

## 平成29年 浸水状況



## 再評価の視点

### ①事業の必要性等に関する視点

#### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 未改修区間の現況流下能力は、計画流量（22 m<sup>3</sup>/s）に対し、現況は約31%となっており、河川改修が必要である。
- 平成29年台風18号をはじめ、これまでに、未改修区間において浸水被害が発生していることから、早期の対応が必要である。
- 水害防止の観点から、残る未改修区間についても、地域住民及び地元市は、早期の改修を望んでいる。

#### 2) 事業の進捗状況

- 工事：河道改修区間3,530mのうち1,400mが完了し、事業費ベースで87%が完了している。
- 用地：事業費ベースで61%が完了している。

### ②事業進捗の見込みに関する視点

- 未改修区間において、用地買収及び工事を実施中であり、今後、円滑に進捗できる見込みである。

### ③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 現河川を活用して拡幅することにより用地費のコスト縮減を図る。

## 対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**